

# 『庄内っこ日和』

令和4年7月19日  
庄内こどもの杜幼稚園 教頭 岩崎巧

## 昼ご飯&帰園の様子「手あげてわたろう！」

昼ご飯を食べた後は、自由あそびをして、帰りました。帰り道では、バスに着くまでに横断歩道がありました。「手あげて渡ろう！」と子どもが言うと、青になると、しっかり手を挙げて渡る姿がありました。親水公園の傍の方に、帰りの挨拶をして、少し早めに帰園しました。

神社に着いてからは、少し時間があつたので、バスの中で一日の振り返りをしました。自分たちが楽しかったことを答え終わると「先生は何が楽しかった？」と聞いていました。

楽しいことを分かち合える経験は、大変重要です。“しんどいは半分にうれしいは倍に”そんな経験が子どもたちを強くするのではないかと思います。



はじめに…

保護者の皆様いつも当幼稚園のものをこっこにご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。

この『庄内っこ日和』は、令和元年度から掲採用として始めた、当幼稚園の園外保育での子ども達や先生の様子を、当学園の理念や方針と重ね合わせながら皆様にお伝えする“ドキュメンテーション”です。

晴れたよい天気という意味もある日和という言葉は、庄内っこの未来を明るく照らしています。

このお便りを通して、日々子ども達や先生の様子や当幼稚園の考えを少しでも知って頂けるきっかけとなれば幸いです。

今回は、“もののこっこ年少組(夏)余野川親水公園で川あそびの様子をお伝えしたいと思います。

- 今回のねらい：
  - ・自然の中で、他児と一緒に水遊びを楽しむ。
  - ・様々な生き物や自然物を発見し、他児や保育者に見せたい伝えたいして楽しむ。



# もののこっこ年少(夏) 余野川親水公園で川あそび

自然がたくさん

初めての

川あそび

川あそびを始める前に、まずは先生の危険生物や、遊び方の説明を聞きました。子どもたちは、「蜂がいたら危ない」など声に出しながら、先生の話をしっかりと聞いていました。説明が終わると準備体操。首や手・足をぶらぶらするなど、あそびを通して準備体操している様子がありました。川に入ると、初めての川に少し緊張気味の子どもたちでしたが、川の中にたくさんの生き物がいる事に気付いたり、先生や友達と水の掛け合いをしたいすることで、すぐにたくさんの笑顔が見られました。慣れてくると、「お尻僕もつけれるよ」と言って、川の中で座ってみたり、網で岩の下を探り、生き物を捕まえようとして、積極的に自然と関わろうとする姿が見られました。ライフジャケットも事前に園のプールで付ける練習をしていた為、嫌がる子どももみならず、安心・安全に川あそびを楽しむ事が出来ました。子どもたちや先生・お母さん・お父さんの写真の表情を見ると楽しかった事が伝わるかと思います。“みんな”にとって良き思い出となる一日でした。



まず、説明を聞いて

ちょっと緊張気味…

準備体操

川あそびに夢中